

http://docs.oracle.com/cd/E16338_01/nav/portal_11.htm

[Oracle Database インストール・ガイド 11g リリース 2 \(11.2\) for Linux](#)

[Oracle Database クイック・インストール・ガイド 11g リリース 2 \(11.2\) for Linux x86](#)

[Oracle Database Client クイック・インストール・ガイド 11g リリース 2 \(11.2\) for Linux x86](#)

インストールの注意点

基本的にインストールガイド通りが良い。

ただし、64bitOS に 32bitOracle をインストールする場合

```
/usr/bin/ld: skipping incompatible /appbin/oracle/dmadmin/product/11.1.0/client_1/lib/libirc.a when
searching for -lirc
/usr/bin/ld: skipping incompatible /appbin/oracle/dmadmin/product/11.1.0/client_1/lib/libirc.a when
searching for -lirc
/usr/bin/ld: cannot find -lirc
collect2: ld returned 1 exit status
```

のようなエラーを吐いてしまうことがある。

これは、gcc で 64bit 用にコンパイルしようとしてエラーになっている可能性がある。

対応策としては以下の2つ。どちらでもいいけど、対応策2のほうが楽。

対応策 1

1. 32bit の gcc をインストールする。
 1. 64bit の gcc とバージョンが重なると問題が出ることがあるので、バージョンが重ならないような 32bit gcc をインストールする。
2. /usr/bin/gcc を 32bit を見るようにする
 1. mv /usr/bin/gcc /usr/bin/gcc-x86_64
 2. cp /usr/bin/gccXX /usr/bin/gcc
 3. gccXX はインストールしたバージョン
3. gcc -v で 32bit になっていることを確認して、Oracle をインストール
4. インストールが終わったら、/usr/bin/gcc を戻しておく

対応策 2

gcc のオプションに -m32 を付けて 32bit 用にコンパイルする

```
$ORACLE_BASE/db_1/sysman/lib/env_emagent.mk
```

の gcc を gcc -m32 に置き換えて再試行するとうまくいくはず